

郷土摂津

第75号

平成16年7月1日

いにしえ通信

発行 摂津市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

〒566-8555 摂津市三島一丁目1-1

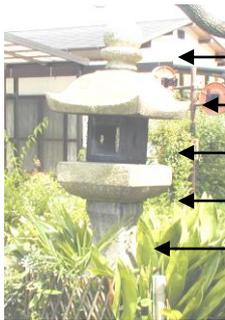
Tel(06)6383-1111 (072)638-0007

ホームページアドレス <http://www.city.settsu.osaka.jp/>摂津市の
石造文化財神前型灯籠
春日灯籠
(千里丘3丁目)

第4回

室町時代後期から神前型灯籠を、有力者や信者が競って寄進し、数多く献納されました。金剛院本堂前にこの神前型灯籠があります。

宝珠と請花をシンプルにつくり、笠部の頂部にのせています。笠も江戸時代の新しい形式で反が強くはねあがっています。火袋には左右に日月を配して、それを受ける中台も単純です。竿部にはめずらしく梵字を配しています。竿部全体に銘文を記しているので紹介します。



宝珠・請花 (ほうじゅ・うけばな)
笠部 (かさぶ)
火袋 (ひぶくろ)
中台 (ちゅうだい)
竿部 (さおぶ)

※□の部分
は摩滅が激しく不明

(裏)	(左)	(正)	(右)	銘文
延亨四卯年 仲久吉	□行者□寂道	於□前告□摩一萬座悉地□	叱是光耀永傳萬年	照燈石塔阿遮尊前

金剛院内に一般的な春日灯籠があります。宝珠の部分がシンプルなのに比べて請花の花弁は一枚ずついいいにつくられています。笠部の蕨手(わらびて)が出現するのは、鎌倉時代以後であり、古いものでは巻き込みの立ちあがりが高くしっかりしていますが、新しいものになると丸みに加えて単なる渦巻きとなるのが特色です。この蕨手も単純な渦巻文となっています。火袋にも連子や格狭間を設けていません。中台は、四辺に切り、請花で受けさせ、竿部を極端にすぼめてこの部分に銘文をいれているのが見られます。



春日灯籠

ふるさと
摂津講座

日 時 平成16年7月21日(水)
午後2時～4時
会場 総合福祉会館第1会議室
講師 ふるさと摂津案内人 早川博氏
生涯学習課職員

①金剛院
②淀川から
土器が出土

参加費 無料
定員 60名

※受講に際しては、申し込みは必要ありません。講座当日に直接会場へご来場ください。

